

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>1. 学校給食費の無償化について</p> <p>コロナ禍は3年目に入りました。今、ガソリン代、資材、光熱費、食料品など物価の高騰が暮らしと営業に襲いかかっています。物価高騰は、コロナ禍やロシアのウクライナ侵略の影響だけでなく、異常な円安で輸入品の価格も上がり家計に重い負担になっています。また、消費税10%は買物のたびに支払い、負担感いっぱいの毎日です。</p> <p>非正規で働く人の割合は総務省調査で4割を占め、約10年間で実質賃金は22万円減少している（政府統計から試算した額）という情報もあります。格差と貧困が、子供たちの健康格差につながらないようにするにはどうしたらいいのか。</p> <p>憲法第26条には「義務教育は、これを無償とする」とうたわれていますが、学校給食までは無償化ができていません。学校給食の無償化は、子育て世帯には大きな支援になり、安心につながります。</p> <p>2017年度に文部科学省が行った給食費無償化実施状況調査では、全国1740自治体のうち、小中学校両方で無償化を実施している自治体は76ありました。現在、群馬県は35自治体のうち、29自治体で何らかの補助が行われ、14自治体は完全無償化が実現しています。</p> <p>安心して子育てができる環境があれば、少子化対策になるのではないのでしょうか。兵庫県明石市の泉市長は、「少子化の加速や経済の停滞の原因は、私たちの社会が子供たちに冷たいこと。子供を本気に応援すれば人口減少に歯止めをかけられ経済もよくなる」として、子供は未来と位置づけ、負担軽減と寄り添うことを柱に様々な取組をされています。その1つに学校給食費は無料です。2018年の出生率は1.70で、91.2%の市民が住みやすいまちを実感しているとのこと。</p> <p>安心して暮らせる社会の実現はとても大事です。</p> <p>学校給食費の無償化について、以下質問します。</p> <p>(1) 給食費の滞納状況及びその対応について。</p> <p>(2) 学校給食費の公会計化の実施と併せて、学校徴収金やPTA会費などを一括徴収制度とし、教師の負担軽減、管理業務の効率化と同時に富士地区と富士川地区の給食費を統一するとしています。令和4年度の給食費（年額）は、小学校は富士地区5万3900円、富士川地区5万1700円で、中学校は富士地区6万3800円、富士川地区6万1160円です。給食費の統一で、富士川地区の小学校は2200円、中学校は2640円アップします。統一する理由は、同一献立、同一水準の給食を提供しているため、富士川地区の給食費を増額し、同額にすることが適切と考えるとしていますが、管理業務の効率化で経費削減が見込まれます。給食費の統一を機に富士川地区の給食費を上げることについて、保護者の暮らしも大変になっている中、どういう検討をされてきたのでしょうか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
19	笹川 朝子（7）	(3) 学校給食費の無償化は、子供たちの心身の健やかな成長を応援し、食育推進の観点からも求められます。教育費の負担軽減は保護者にとって大きな支援になるのではないのでしょうか。学校給食費の無償化について伺います。	市長 及び 教育長 担当部長